

12 がっひかりごう

令和 2 年 12 月 1 日 輝 保 育 園

紅葉もピークが過ぎ、冬の訪れを感じます。先月、水辺公園に出かけました。その頃は、木々が色づき赤や黄色のトンネルの様に見えました。子ども達が木を見上げながら、「きれいなね」、「すごい！」と歓声です。落ち葉を空中に舞わせ、「シャワー！」とはしゃいでいる子どももいます。秋の自然を満喫した一日でした。いよいよ年末です。大掃除の手伝いや、新年の準備をお家の方と経験することで、子ども達の生活感覚が、更に広がることでしょう。

【 クリスマス 】

イエス・キリストの生誕を祝うキリスト教の祝日です。

キリスト教圏では、12月25日からから1月6日まで、クリスマス休暇を楽しみます。

日本では、明治の初めに最初のクリスマスパーティーが開かれたといわれます。

現在ではキリスト教に関係のない一般家庭でもお祝いし、宗教を超えた年末の国民的行事となっています。



=== ナース・レポート ===

【 はしか死者 20 万人超、
予防接種を !! WHO 】

WHO（世界保健機構）は12日、はしかによる死亡者数が去年、世界でおよそ20万7,500人に登ったと発表しました。

新型コロナウイルスの感染が広がる今年も、はしかの予防接種を怠らないよう各国に呼びかけています。

11/13 配信 日テレ News 24 より抜粋

はしか（麻疹）は空気感染で、免疫がない場合はほぼ100%の人が感染します。

先進国でも気をつけなければならない感染症で、脳炎や肺炎といった合併症は1,000人中13人が罹り、亡くなったり、25%に重い後遺症を残します。

ワクチンが有効な手段ですが、新型コロナウイルスの流行により、予防接種率の低下が指摘されています。

2010年10月に予防接種間隔に関するルールが変更されました。

生ワクチンの接種は27日以上あけるものの、他のワクチンとの接種間隔に制限がなくなりました。

予防接種スケジュールが遅れている方はかかりつけ医に相談し、ワクチンはきちんと接種して、子どもをVPD（ワクチンで防げる病気）から守りましょう。

《 《 《 お 願 い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ ほめ上手な大人であるために ☆☆

1. 日頃から子どもの良さに気づこうと意識する

どこにでもある木々や草花、鳥の鳴き声――、目や耳に入ってはいても、意識しておかないと詳しくは認識できません。

目につきやすい子どもの気になるところや直したいところばかりではなく、日頃からちょっとした伸びや良さに気づこうと意識しておくこと、ほめるべきところがあるので子どもにもたくさんあることが見えてきます。

2. 子どものちょっとした伸びや良さを捉えてほめる

子どもの日々の成長を意識的に捉え、些細なことでも、大人の感覚で当たり前のことと捉えず、積極的にほめましょう。

例えば、大きな声で返事ができた、先生の話聞く時の姿勢が良くなった等、日常生活の中にはたくさんあります。

3. ほめる時は、どんなところが良かったのか具体的にほめる

例えば、運動会での子どもの様子を見て、「よくがんばったね！」とほめる方法もありますが、親はほめたつもりでも、子どもの側からすると漠然としていて、何が、どう良かったのかよくわからず、ほめられたと思わないケースにもなるようです。

ほめる時には、「ダンスの時の表情がとても素敵だったよ！」のように具体的にほめたほうが子どもの心に響きます。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

たんぼぼぐみ

0 才児



歩行が確立されると自分の意思で動けるようになり自発的で主体的な探索活動によって、どんどん好奇心が満たされるようになります。それによって自信が芽生えてくるため、「何でも自分でやりたい」と意欲が出てきます。ズボン自分で履いてみたり、食事時の介助を拒んでみたりとまさに自我の芽生えです。上手く出来なかったり、思い通りにならないと声を上げて表現し、言葉で伝えることはまだ難しいので、うまく伝わらずもどかしさから泣いたり、要求が伝わらなかったりするとその失望感から泣きわめたりします。何がしたいのかを聞き出し、言葉にしてあげると気持ちの整理がつくようになり、これを繰り返すことにより自分で落ち着く事が出来るようになります。自立するまでの大切な成長過程なのでやさしく見守ってあげてください。

たんぼぼぐみ

1 才児



「一緒に遊ぼう」と声を掛けて同じことをして遊んだり、少し月齢の高い子の遊びに興味を持ち、近くに行って覗いてみたり、思わず壊してしまったり、友達の遊んでいる物が楽しそうに見えて取ってしまったりと色々な姿が見られます。一緒に過ごすことが多くなると、思いの違いから、トラブルになることもあります。その都度、保育者が互いの思いを代弁しながら、仲立ちしています。「これで遊びたかったんだね」などと思いを受け止めると、泣いていたり、怒っていたりしても、分かってもらえた安心感から少し気持ちが落ち着くようになります。その後、相手の思いも伝えながら、一緒に待ったり、他の遊びに誘ったりしています。上手くいった経験、思うようにならなかった経験など、様々な経験の中から友達との関わり方を学んでいます。

すみれぐみ

2 才児



だんだんと冬らしい寒い日が多くなってきました。上着を着てくる子どもが多くなりました。しかし、着かたが分からなかったり、ファスナーやボタンの留め方が分からず、困っている子ども達が多く見られます。一緒にいながら方法を知らせると、「自分でやってみよう」という思いが芽生え、自分で取り組む姿も少しずつ見られるようになりました。時間はかかりますが、最後まで諦めずに頑張っています。出来たときの喜びや達成感、より特別なものに感じられます。その経験が、「難しいけど頑張ってみよう！」という意欲に繋がります。ご家庭でも、出来たときはたくさん褒め、出来なかった時も、頑張ったことを認め、褒めてあげてください。大好きな家族の応援が、一番の力になります。ご協力よろしくお願いします。

ちゅうりっぷぐみ

3 才児



ミニ運動会では、一人ひとりが自分の力を精いっぱい発揮しました。「クラスみんなで活動する楽しさを味わう」という、ちゅうりっぷ組の目標を達成できたことを嬉しく思います。この経験が根っことなり、年中年長児期の「目的に向かってやり遂げる力」や「協力し合う力」となって花を咲かせてくれることを願っています。こども達の最近のお気に入り、リズム遊びと表現遊びです。「いーち、にーい、リンゴ！」とリズムをとったり、「ごしごし、しゅっしゅっ！」とお風呂ごっこをしたりと楽しんでいます。「みんなの前でやって見せたい」と「私できるよ！」「僕もできる！」と大騒ぎ。「誰にしてもらおうかなー」と言いかけると、急に背筋を伸ばし、立派な体操座りをお披露目してアピールする可愛いちゅうりっぷ組さんです。

ばらぐみ

4 才児



ミニ運動会の練習の際、年長児の鼓隊や組体操を見学しました。最初は「わあ、凄い！」「かっこいい！」と憧れの眼差しでしたが、「僕達もしてみたいね」とかなり刺激を受けました。本番当日、体育教室では、鉄棒の前回りに苦戦する姿が多く見られていましたが最後まで諦めず、やり遂げることが出来ました。遊戯では、楽しそうに踊る姿や立ち位置を確認しながら力を合わせる姿が見られました。緊張ながらも自分の力を発揮出来た経験は、自信にも繋がった事でしょう。今月は合奏に挑戦していきます。楽器の使い方、扱い方、叩き方などを伝えながら活動していきます。友だちと力を合わせる活動の過程で、相手の思いに寄り添ったり苦手な事でも誰かと一緒に乗り越えられる経験を積み重ねていきます。

ひまわりぐみ

5 才児



先日のミニ運動会では、友だちを信頼して組体操に挑戦しました。また、友だちと気持ちを一つにして競技と鼓隊に取り組みました。競技で勝てるようにと同じチームの友だちと順番や組み合わせを考え、全力で競争する姿はかっこよく、逞しさも感じました。運動会への取り組みを通してクラスの団結力がさらに高まり、戸外ではルールのある遊びをしています。いろいろな鬼ごっこをしていますが、途中でトラブルになって遊びが中断したり長続きしなかったりすることもあります。自分の思いもはっきり伝え、相手の話もきちんと聞いて「じゃあいいよ」と譲る姿も見られますが、トラブルになると「じゃあ止める」と言ったり怒ったり泣いたりする姿も見られます。遊びを通して思いやりの心をもち、友だちとの関わりを深めてほしいと願っています。

= 12 月の行事予定 =

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 4 日 (金) | 避難訓練 |
| 24 日 (金) | 身体測定・誕生会
クリスマス会
集合写真 |
| 28 日 (月) | 保育収め |
| 29 日 (火) | 年末年始休み |
| 1 月 3 日 (日) | |
| 4 日 (月) | 保育始め |

